

第47回  
高野山  
夏期講座  
2016

# 部落解放・人権 夏期講座

同時開催

フィールド  
ワークコース

日時

2016年8月22日(月)~24日(水)

参加費

7,500円 (参加・資料代、  
報告書代、税込)

会場

高野山大学松下講堂黎明館、高野山大学体育館 他

主催

部落解放・人権夏期講座実行委員会

8/22

開会行事 14:00~ 全体講演 14:15~17:40

全体講演1

① 14:15~15:45 (90分)

自死

### 自死遺族として生きる

自死遺族への差別は商法、民法、宅建業法、健康保険法など様々な法の中に存在し、社会に迷惑をかけたとされてきました。社会に追い込まれ、苦しみながら生きています。

たなかさちこ  
田中幸子 (一社)全国自死遺族連絡会代表

② 16:10~17:40 (90分)

水俣病

### 水俣病は終わっていない

水俣病発生公式確認から60年。しかしながら問題が解決したとは言い難く、今もなお、患者の闘いも続いています。終わらぬ水俣病の現状を伝えます。

はなだまさのり  
花田昌宣 熊本学園大学水俣学術研究センター長

会場：高野山大学松下講堂黎明館(1000人)

全体講演2

① 14:15~15:45 (90分)

憲法

### 憲法と人権

憲法は権力から国民を守るためにあります。衆院憲法審査会で「違憲」と断じ、日本中にその存在感を発揮した憲法の重鎮が、私たちにとって憲法とは何かを鋭く斬る!

こばやし せつ  
小林 節 慶應義塾大学名誉教授  
弁護士

② 16:10~17:40 (90分)

ジャーナリズム

### 写真で伝える、世界と東北の今

未曾有の被害をもたらした東日本大震災。時を同じくして、中東シリアでは反体制デモが激化し内戦に発展しました。5年の歳月が東北やシリアに何をもたらしたのか、テレビや新聞が報道しない“今”を伝えます。

やすだ なつき  
安田菜津紀 フォトジャーナリスト  
(studio AFTERMODE所属)

会場：高野山大学体育館(500人)

★車で参加される方や手話通訳等を必要とされる方など、受講にあたって支援が必要な方は、7/29(金)までに事務局までお知らせください。(一社)部落解放・人権研究所 啓発企画部 TEL:06-6581-8576・FAX:06-6581-8540・E-Mail:koyasan@blhri.org

## ぜひ涼しい服装で!

高野山大学体育館および201教室はエアコンがありません。ぜひ涼しい服装でお越しください。

## 課題1

## 部落

差別の現実と  
とらえ方入門

差別の現実は見えにくい。それは何故か、部落差別は今でもあるのかを検証します。同時に差別は社会問題であることの意味を検証します。部落問題を通じて差別や人権の課題を受け止める基本的視点を考えたい。

おくだ ひとし  
奥田 均

近畿大学教授  
(一社)部落解放・人権研究所  
代表理事

## 難民

今日の難民問題、  
日本ができること

世界の難民問題の現状、「難民」とはどのような人たちなのか。難民問題に対する国際社会の取組を踏まえ、日本ができることについて考えます。

おびなおこ  
小尾尚子

UNHCR Representation  
in Japan(国連難民高等弁務  
官駐日事務所)副代表

## 障害者

差別解消で  
生きやすく

健常者には障害がない。それって本当ですか!? だれもが暮らしやすい社会のために障害者差別解消法は必要です。障害とは個人ではなく、社会の環境にあります。

さとう さとし  
佐藤 聡

DPI(障害者インターナシヨナル)日本会議事務局長

## 沖縄

沖縄から植民地  
主義を問う

いま、沖縄では「自己決定権」という言葉がよく使われています。日本国民一人一人が本来持っている権利がないがしろにされている現状が沖縄からよく見えます。差し迫った日本の課題を浮き彫りにしたい。

あらかき つよし  
新垣 毅

琉球新報編集委員

会場：高野山大学松下講堂黎明館(1000人) バリアフリー情報 入口:自動ドア、段差なし/エレベーター:なし/トイレ:車イス対応トイレあり(男女別)/障害者対応駐車場:なし/その他:大学の校門から会場まで登り坂。介助が必要な方は事務局までお知らせください。

## 課題2

## レイシャル・ハラスメント

職場における平等  
と多様性を求めて

不法に人権を侵害するようなケースから、なにげない雑談に含まれる不快な言動まで、職場環境を汚染するさまざまな差別がどのように組織をダメにしてしまうか考えます。

きむ みよんす  
金 明秀

関西学院大学社会学部教授

## 部落

データで見る  
部落問題

部落差別の中で最も厳しいと言われてきた結婚差別ひとつをとってみても、その解釈は様々です。数量的なデータから、部落差別の現実を冷静に見つめます。

うちだりゅうし  
内田龍史

尚綱学院大学総合人間科学部  
現代社会学科准教授

## 依存症

依存症からの回復  
を支える社会へ

依存症は「本人が好きでなった」とみなされ、適切な治療や援助を行わない社会的ネグレクト状態にあります。自己責任で片付けて、放置しておいてよいのでしょうか。「依存症から回復する権利」について考えます。

たにくちい さみ  
谷口伊三美

薬物依存症回復支援団体  
Freedom(フリーダム)常任理事  
(一社)日本アルコール関連問題  
ソーシャルワーカー協会副会長

## 合理的配慮

何のため?どこまで  
が「合理的配慮」?

障害者差別解消法のキーワード、「合理的配慮」。これは誰もが住みやすい社会に変えていくための大切な「道具」です。基本的な考え方と具体的な対応がわかるように努めたいと思います。

まつなみ  
松波めぐみ

大阪市立大学ほか非常勤講師

会場：高野山大学体育館(500人) バリアフリー情報 入口:自動ドアなし、段差なし/エレベーター:なし/トイレ:車イス対応トイレなし(本館のトイレをご使用ください)/障害者対応駐車場:なし/その他:大学の校門から会場まで登り坂。※会場には階段を使用します。そのため、車イスのまま会場内に入る際に介助が必要となりますので、事務局までお知らせください。

## 課題3

## LGBT

同性間パートナー  
シップと法制度

同性間に結婚を認めるべきか否か。今、世界各地で論争が起っています。婚姻そのものがもつ現代的な意味を問い直し、同性間パートナーシップの法的保障について考えます。

たにくちひろゆき  
谷口洋幸

高岡法科大学准教授

## まちづくり

「孫一と雑賀鉄砲衆」  
ゆかりの里から

「地域にしかないものを大切に」をスローガンに、「まちづくり運動」のなかで、今「孫一と雑賀鉄砲衆」にスポットをあて市行政と協働で新たな観光資源の開発に取り組んでいます。

いけだせいろう  
池田清郎

和歌山市平井地区まちづくり  
協議会  
NPO法人まち副代表

## 地域課題

小さなニーズの2乗は、  
安全安心な生活環境

需要は少ないが、生活のためには必要なことがあります。車が持てない低所得者や高齢者、体に何らかの不自由を抱えた方々など“買物弱者”と一般就労が少し難しい“就労弱者”のコラボレーションで町おこし!?

はらだ とおる  
原田 徹

社会福祉法人ライフサポート  
協会理事

## 部落

## 部落女性と複合差別

国連の女性差別撤廃委員会で部落の女性が報告した「被差別部落女性の実態」など、部落差別と複合差別の実態と課題を明らかにし、解決へむけた展望を語ります。

つるおかひろみ  
鶴岡弘美

部落解放同盟大阪府連合会  
女性部部长  
いのうえやすこ  
井上泰子  
部落解放同盟大阪府連合会  
女性部副部长

会場：高野山大学201教室(330人) バリアフリー情報 入口:自動ドア、スロープあり/エレベーター:あり/トイレ:車イス対応トイレあり(1F男女共有)/障害者対応駐車場:なし/その他:大学の校門から会場まで登り坂。介助が必要な方は事務局までお知らせください。

8/24

③ 9:30~11:00(90分)

全体講演 1

### ハンセン病

## ハンセン病問題を考える

ハンセン病問題とは病気や医療や福祉にとどまる問題ではなく、犯した過ちをいまだに回復していないという、私たちの国のあり方の問題です。

やひろみつひで  
八尋光秀 「らい予防法」違憲国家賠償請求訴訟  
弁護団共同代表  
弁護士

会場：高野山大学松下講堂黎明館(1000人)

8/24

③ 9:30~11:00(90分)

全体講演 2

### LGBT DVD上映

## カナダ・トロントの LGBTコミュニティ報告

LGBTフレンドリーな都市として有名なトロント。カナダの何が日本に活かせるのか、日本でどのようにカスタマイズできるか、この報告がヒントになればと思います。

しおやすつ くも  
塩安九十九 新設Cチーム企画代表  
(制作者)

会場：高野山大学201教室(330人)

8/23

13:00~17:00

事前  
申込制

### フィールドワーク

## 「高野山の宗教空間を歩く」

講師：木下 浩良(高野山大学図書館課長心得)

申込方法

お名前、所属、連絡先(郵便番号、住所)、電話番号、FAX番号、E-Mailアドレスを書いて、下記の「FAXまたはE-Mail(koyasan@blhrrri.org)」にお申し込みください。また、請求書を必要とされる方は請求書の宛名及び日付等をお知らせください。

申込締切

7月29日(金)締切 ※申込多数の場合は抽選となります

※定員に限りがございますので、おひとりずつお申し込みください。

※最後まで参加できる方に限ります。

※抽選結果につきましては、8月8日(月)までに直接ご連絡いたします。

※お申し込みの際の個人情報、講座運営上の目的以外には使用いたしません。

申込先

部落解放・人権夏期講座  
フィールドワーク係

FAX:06-6581-8540(24時間受付)

E-Mail:koyasan@blhrrri.org

参加費

3,500円 (バス代、資料代、税込み)

※但し、路線バスの利用となります。

あらかじめご了承ください。

定員

50名 ※おひとりずつお申し込みください。

### 学習目的にあった講座を選んで受講いただけます。

●たとえば初めて受講されるみなさんには2日目の受講にあたって、「課題1」をおすすめします。

1日目

全体講演は、  
関心のあるテーマ  
を選択

2日目

課題 1-①  
課題 1-②  
課題 1-③  
課題 1-④

3日目

全体講演は、  
関心のあるテーマ  
を選択

●その他、ご希望の講座を選んで受講いただけます。

※フィールドワークのみ事前にご予約いただかねばなりません。

アクセス



バス路線略図



●電車運賃:1260円(南海高野線「なんば」駅→「高野山」駅、特急利用の場合、別途特急料金780円)

●バス運賃(高野山駅前発)  
高野山大学 290円(「千手院橋」下車)

※詳しくは、南海電鉄 (<http://www.nankai.co.jp/>)  
南海りんかんバス (<http://www.rinkan.co.jp/>)  
にてお確かめください。

※現地の駐車場には限りがありますので、お車での参加はご遠慮ください。  
また、事故、盗難などに関する責任は負いかねますのでご了承ください。

### 参加者には全講演をまとめた報告書を解放出版社よりお届けします。

後日、すべての講演内容をまとめた報告書をお送りいたします。

参加できなかった講演を含め、本講座で論じられた幅広い分野の貴重な情報が得られます。

なお、この件に関するお問い合わせは、解放出版社TEL.06-6581-8542までお願い致します。

部落解放・人権  
夏期講座  
実行委員会

構成団体:大阪府人権教育研究協議会、大阪市人権教育研究協議会、大阪府立学校人権教育研究会、大阪市立高等学校人権教育研究会、大阪私立学校人権教育研究会、(一社)大阪府専修学校各種学校連合会、大阪府、大阪府教育委員会、大阪市、大阪市教育委員会、堺市、堺市教育委員会、大阪府市長会、大阪府町村長会、『同和問題』にとりくむ宗教教団連帯会議、同和問題にとりくむ大阪宗教者連絡会議、高野山真言宗、大阪同和・人権問題企業連絡会、大阪企業人権協議会、JAグループ大阪人権啓発推進連絡会、人権啓発推進大阪協議会、世界人権宣言大阪連絡会議、部落解放同盟大阪府連合会、部落解放大阪府民共闘会議、部落解放同盟和歌山県連合会、(一財)大阪府人権協会、(一社)高野山宿坊協会、(株)ジョイックス、(一社)部落解放・人権研究所 (順不同)

参加・宿泊のお申し込みは、7月29日(金)までにご所属の団体事務局にお申し込みください。  
 ※参加と宿泊の申し込み先は、別になっていますのでご注意ください。

### 参加費・参加申込方法

#### 参加費

**7,500円**

(参加・資料代、報告書代、税込み)  
 ※原則として3日間参加してください。

#### 参加申込方法

実行委員会加盟団体のみならず  
 7月29日(金)までにご所属の団体事務局にお申し込みください。

実行委員会加盟団体以外の団体の方、ならびに個人として参加される方  
 下記①または②の方法でお申し込みください

- ①(一社)部落解放・人権研究所のホームページよりお手続きください。(クレジットまたはコンビニ決済となります。)⇒<http://blhrri-shop.org/>
- ②下記の銀行口座に参加費をお振り込みください。その後、申込書に必要事項をご記入の上、振込証明書(領収書のコピー)とあわせて下記事務局まで、FAXまたは郵送にてお送りください。後日、参加券をお送りいたします。

#### ホームページからの申込

(一社)部落解放・人権研究所のホームページよりお手続きください。  
 (クレジットまたはコンビニ決済となります。)⇒ <http://blhrri-shop.org/>

#### 参加費振込先

りそな銀行桜川支店 普通預金 0109213  
 部落解放・人権夏期講座実行委員会 代表 奥田 均

#### 参加申込書送付先

〒552-0001 大阪市港区波除4-1-37 HRCビル8F  
 (一社)部落解放・人権研究所  
 「部落解放・人権夏期講座」係  
 tel.06-6581-8576 fax.06-6581-8540

### 宿泊料金・宿泊申込方法

#### 宿泊料金

**17,300円**(税込み)

※2泊3日・5食(2日目の昼食は弁当)の  
 料金です。

#### 宿泊申込方法

実行委員会加盟団体のみならず  
 7月29日(金)までにご所属の団体事務局にお申し込みください。

実行委員会加盟団体以外の団体の方、ならびに個人として参加される方  
 宿泊を希望される方は、(株)ジョイックスのホームページよりお手続きください。  
 インターネット環境にない方は、下記の申込書に必要事項をご記入の上、  
 コピーを下記(株)ジョイックスまで、FAXまたは郵送にてお送りください。

#### ホームページからの申込

(株)ジョイックスのホームページよりお手続きください。  
 ⇒ <http://joyx.moon.bindcloud.jp/>

#### 宿泊料金振込先

りそな銀行新大阪駅前支店 普通預金 7011087  
 株式会社ジョイックス(大阪府知事登録旅行業第2種1558号)

#### 宿泊申込書送付先

〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-8-3 新大阪サンアールビル北館  
 (株)ジョイックス  
 「部落解放・人権夏期講座」係(担当:山本)  
 tel.06-6390-3400 fax.06-6390-0394

◎高野山直行バス案内◎ 南海特急こうや号の指定席もご用意できます(満員になり次第締切ります)

新大阪駅→高野山(全体講演会場)直行バス運行の案内 ▶ 片道**3,500円**

出発時間 午前10時30分(所要約3時間)

※8/24(水)の復路も運行しております。 ※申込等は上記(株)ジョイックスまで、お問合せください。  
 (株)ジョイックス ホームページ <http://joyx.moon.bindcloud.jp/>

切り取るか、コピーしてお使い下さい。

切り取り線

お問い合わせ先

(一社)部落解放・人権研究所 啓発企画部

TEL:06-6581-8576・FAX:06-6581-8540・E-Mail:koyasan@blhrri.org

第47回部落解放・人権夏期講座

2016年 月 日

参加申込書	名前			性別	
	所属				
	連絡先(住所)	〒 □□□-□□□□			
	TEL	( ) -	FAX	( ) -	

※正確にお書きください。なお、ご記入いただきました個人情報は、講座の運営上の目的以外には使用いたしません。